

環境学習みえ

2021年4月／三重県環境学習情報センター(四日市市桜町3684-11)年4回発行
表紙の人／BROOK代表 坂 丈哉さん 2021 No.84

春

「地域材でオリジナル家具作り」



「地域材でオリジナル家具作り」

みなさんは普段、どんなものを買いますか。
 私たち消費者は、日々、買い物をして食べものや暮らしに必要なもの、
 サービスを手に入れています。
 最近、「エシカル消費」という言葉をよく見かけます。
 毎日の私たちの消費が、世界の未来を変えたとしたら？
 エシカルな消費とは、どんなものを選び、どんなものを買うことなのでしょう。
 今回は、四日市市で三重県産の木材を利用した「オーダー家具」の販売をしている
 「BROOK(ブルック)」をご紹介します。



「エシカル消費」でどんなことが応援できるでしょうか。
 具体例の一部を見てみましょう。



「エシカル消費」とは？

※エシカル (ethical) = 倫理的な・道徳的な

エシカル消費*とは、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動です。私たち一人一人が、社会的課題に気付き、日々の買物を通して、その課題の解決のために、自分で何ができるのか考えてみることで、これが、エシカル消費の第一歩です。私たちが商品・サービスを選択する際に、「安心・安全」、「品質」、「価格」だけでなく「エシカル消費」という基準も大切です。

引用：消費者庁パンフレット「みんなの未来にエシカル消費」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標 (SDGs) の12番目は「つくる責任 つかう責任」

2015年9月の国連総会で決められた国際的な17の目標のなかにも、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的な社会などと併せて、「持続可能な生産・消費形態の確保」が掲げられています。

引用：消費者庁 エシカル消費特設サイト

Web <https://www.ethical.caa.go.jp/>

もっと知りたい人はこちら!



BROOKが考える「エシカル消費」とは

BROOKが考える「エシカル消費」とは、マインドが伝わったうえでの消費行動だと考えています。

地域の木材は、地域の方が戦後植林してくれたものです。50年先、60年先の平和な日本を想い、地元の大先輩が私たちのために行動を起こしてくれた結果だと感じています。そんな想いをしっかりと感じて、今のような行動をとるべきかを私たちは考えなければいけません。

次の世代に繋げていくためには、マインドをしっかりと伝え共有し、私たちが喜び、楽しみながら暮らしていく中でブルックが何の役割を担うのか。私たちは、ここになくはならないお店になれるように日々考えお客様や商品、食材に全力で向き合っています。

私たちに理念があります。
 「私たちは商品・サービス・ホスピタリティを以って未来を創造し、すべての人々を笑顔にすることを考えて行動します」

私たちは地域の木材を利用していくことで森を活性化させ、未来の子どもたちに安心安全に暮らせる環境を残していきたい。



BROOK (ブルック)
 四日市市城西町4-27 TEL:059-337-8074
 OPEN▶11:00-22:00
 定休日▶水曜日
<https://brook-japan.com/>

【お話を伺った人】

BROOK (ブルック)

さか たけ や
 代表 **坂 丈哉** さん



「BROOK」では、三重県産の木材を利用したオーダー家具の販売をしています。また店内には地域の食材を取り入れたカフェとフェアトレード雑貨や地元四日市の万古焼なども販売をしています。



材木屋さんが作る ダイニングテーブル

～丸太からテーブルになるまでの製作工程～

丸太の皮の部分の形(耳)を自然のまま残した
ヒノキのダイニングテーブルです。

1 原木市場から
三重県産の丸太を買付



熟練した職人の目利きにより選定した丸太を原木市場の競りで買付し、工場で作材します。



緻密な年輪の丸太を選びます。木目が細かくてきれいです。

2 丸太を製材する



ヒノキの丸太からテーブルの天板となる厚さ8cmの板を取ります。最終製品の寸法より少し大きく製材しています。

3 木材乾燥機で
乾燥させる



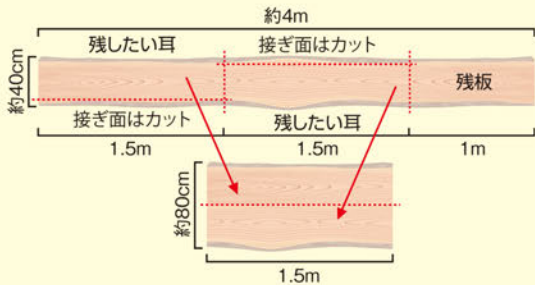
板材を乾燥させるために1本1本隙間を空けて積み上げ(棧積み)ます。そのあと木材乾燥機に入れて十分に乾燥させます。乾燥させることで割れや反り、縮みを起こりにくくします。

4 天板選び



乾燥を終え、長さ4m・幅40cmほどの天板ができあがりました。ここまでの幅になるまでに60～80年ほどかかるそうです。

5 削る・接ぎ合わせる



天板を選んだら、加工していきます。4mの天板をテーブルの長さにカットし、片側の耳を残して接ぎ面をカットします。板同士を平行に接ぎ合わせます。

6 仕上げに磨いて
塗装をする



ベルトサンダーで細かいキズをとってなめらかに仕上げ、最後に自然塗料を塗ってテーブルの天板が完成です。

7 お客さまに納品・
組み立てる



天板をお客さまのご自宅に納品したときに鉄製(アイアン)の脚を取り付けて完成です。脚はアイアンまたは木から選べます。

◀「ヒノキとアイアンのダイニングテーブル」
長さ1.5m×幅80cm
金額:13万円程度～
※使用する板によって金額は異なります



材木屋さんが作る家具

BROOKの代表の坂さんは、祖父が昭和25年に創業した材木会社、三栄林産の三代目として生まれました。木に携わる者として、地域材をたくさんの人に使ってもらいたいという想いから、2011年にインテリアアショップとカフェの複合施設、BROOKをオープンしました。

BROOKでは三重県産の木、主にスギ・ヒノキを使用してオリジナルのオーダー家具製作をしています。代表的な家具のひとつにダイニングテーブルがあります。一本の丸太から伐り出した無垢材を使用し、木目がデザインの一部となっていて木の質感が活かされています。BROOKのこだわりは「材木

オーダー家具の良さ

決められることです。家や部屋に合わせ

「持つてやり続けようと思います」

屋が作る家具、というところ。材料になる丸太は職人が一本ずつ見極めて製材し、ひとつひとつ丁寧に手作りされたものです。材木屋だからこそ、県産材を手に入れることができ、製材・加工する工場が自社グループにすべて揃っているため確かなものが提供できます。

たサイズや形の家具を手に入れることができます。BROOKではこれまでにさまざまなオーダーにこたえてきました。子どものために絵本に登場する乗り物を作ってほしい、結婚記念日に妻へ椅子の贈り物をしたい、どれも誰かのために特別に作られた、とても思い入れのあるものです。

木の製品は室内であれば100年以上もつものだと思います。経年変化で風合いが増してくるといふ点では、使うほどに価値が上がっていくものであり、また反対にカンナで削れば、新品のように生まれ変わります。

また、ダイニングテーブルを再び加工して小さい座卓に作り変えることもできます。ライフスタイルに合わせて家具の形を変えながら、長く使い続けていくことができるのも魅力のひとつです。

オーダー家具①
▼ディスプレイシェルフ(スギ)



オーダー家具②
▼オーディオボード(スギ)



オーダー家具③
▼奥様へ椅子のプレゼント(ヒノキ)



実際に奥様に座ってもらい、希望を伺って製作しました。

▼カフェテーブル(スギ)



現在、BROOKのカフェで使用されるテーブルは、もとは3mの長いテーブルでした。お店のリニューアル時に、1mのテーブル3台に加工したそうです。

なぜ地域材か？

坂さんは、小学生の頃に遊んでいた川を見て水が少なくなっていることに気づきました。昔、泳いでいた川の水位がこんなにも減ってしまったことを父に尋ねると、地域の山から木材が伐出されなくなり、何十年か手入れがされていないことで森林は荒廃が進み、十分な地下水が作られなくなったのでは...と。このことが地域材を販売しようという大きなきっかけのひとつになったそうです。

オーダー家具の販売を始めて15年。お店を通して未来のためにすべきことが日々明確になってきたといいます。2017年にはJR四日市駅近くに木材と家具の販売専門店「BROOKファニチャーセンター」をオープンしました。坂さん「今、僕たちがやらなければならないことは、三世代後に健全な山の環境をつくっていくため、どうしていくかを考えて動いていくことだと思います。」

僕は材木屋として生まれてきたので、木を販売することについてしつかりやらないといけない。」

そして今後は「地域材を売るだけでなく、山に携わるすべての人がそれなりの対価を得られるような仕組みを見直していきたい」と話してくれました。山から木を伐り出す人、木材を製材する人：林業全体が活性化することで、木を伐って利用してまた植えての循環が成り立ち、豊かな山の環境を保つていくことができます。

流域の環境まで考える

材木会社、三栄林産の創業者である坂さんの祖父が植林した山が、亀山市加太地区にあります。現在、その山の木は60～70年生に



育つていて伐期を迎えています。今すぐ

にでも使いたいのですが、林道が整備されておらず伐り出すことができません。坂さんは山の手入れができず、見るに堪えないほど荒れてしまっている山を目の当たりにして、「こうした山の現状を知ってほしい」と話してくれました。祖父が孫たちを想い、スギやヒノキの苗木を本ずつ手で植林してくれたという木を使うことが坂さんの今後の希望でもあります。

加太の山は鈴鹿川の源流域にあります。山の地下水が集まって次第に大きな川となつて伊勢湾へとつながっていきます。豊富



三栄林産(ノッティーハウスリビング)

な水を貯え、おいしい水をつくり豊かな海を育みます。水源となる加太の山を守ることは、その流域圏に住む人たちの暮らしを豊かにすることにつながっているのです。

未来に豊かな環境を残していくために



今回は「エシカル消費」特集として、BROOKの取組みをご紹介します。坂さんのお話から「地域材を利用した家具を作り、豊かな環境を未来につなげていきたい」という坂さんの強い思いが伝わってきました。

私たちは食品を買うとき、どこで作られているのだろう？と食品表示に記載されている産地をよく確認します。でも、木の製品を買うときに、この木はどこで育ったのだろう、誰が伐ったのだろう？と考えることはあまりしないのではないのでしょうか。私たちが少し意識をして、地域の木材で作られたものを使うことで、地域の林業を応援することになり、地域の森林や水環境を守ることにつながります。

「エシカル消費」は、消費者と生産者をつなぎ、地球環境を守り、持続可能な経済、社会をつくりだします。みなさんも今日から買い物にエシカル視点の視点を少し取り入れてみませんか。

写真提供 BROOK

三栄林産グループ

昭和25年創業の三栄林産株式会社を中心にグループ会社を展開。ひとりの想いを「ていねい」に紡ぐ、森と木のあるライフスタイル創造カンパニーを企業理念としています。



先代が植えた地元の木を育て、森をつくる。地域の資源を活かしながら、豊かな自然を後世に残し、森林・地域・家族 三つがずっと栄え続けていけるような、100年企業を目指します。



ノッティーハウスリビング
亀山市加太中在家8032-1
【三栄林産(製材部)】
TEL:0595-98-0114
【ノッティーハウスリビング】
TEL:0595-98-0678
http://knottyhouseliving.com/



かぶとの森 フィットネス
CAMP & LOG + FITNESS
亀山市加太中在家 812
TEL : 0595-98-0605
http://kabutomori.com/



カフェでは亀山の豚肉、四日市の牛乳、菰野のお米、鈴鹿の卵など地域の食材を使った地産地消メニューが味わえます。フェアトレード雑貨、四日市の万古焼なども販売しています。



祖父・父から受け継いだ山を三兄弟で守っていく



▲三栄林産グループでは、林業という循環型ビジネスの役割を担い、持続可能な地域社会をつくっていくことを目指しています。
中：BROOK代表の三男・丈哉さん
右：長男・英哉さん 左：次男・成哉さん

トピックス みえ

三重県のこどもエコクラブを紹介します!

◇こどもエコクラブとは

こどもエコクラブは、3歳から高校生までも参加できる環境活動のクラブです。一緒に活動する仲間(メンバー)と活動を支える大人(サポーター)がいれば、いつでも登録できます。

子どもたちの地域での自主的な環境活動を通して、環境を大切にする心と行動力を育むことや環境活動の輪を広げることを目的としています。

三重県では、57クラブ、メンバー9,559名、サポーター267名の仲間が環境活動を頑張っています。

今回は、こどもエコクラブ全国事務局が主催する「全国エコ活コンクール」壁新聞部門への応募作品を紹介します。



三重中学校・高等学校 科学技術部の活動



三重中学校・高等学校 科学技術部 (松阪市)

海の学校での学び ~松名瀬海岸を多面的にみる~



三重中学校・高等学校 科学技術部 (松阪市)

科学技術部の新しい活動

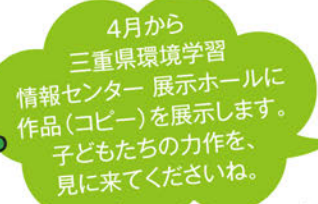


三重中学校・高等学校 科学技術部 (松阪市)

新しい生活様式 With エコ活



なひがんばる隊 (津市)



▲こどもエコクラブ イメージキャラクター「エコまる」

水と植物①



明和イオンチアーズクラブ (明和町)

水と植物②



明和イオンチアーズクラブ (明和町)

水と植物③



明和イオンチアーズクラブ (明和町)

2021未来・希望新聞



鈴鹿イオンチアーズクラブ (鈴鹿市)

2019思い出新聞



鈴鹿イオンチアーズクラブ (鈴鹿市)

◇こどもエコクラブに登録すると

新規登録のクラブはこどもエコクラブの証「メンバーズバッジ」が貰えます。(小学生未満の希望するメンバーは「ぼくの／わたしのエコカード」も貰えます) 活動内容は自由です。まずは「おもしろそう」と感じた身近なことから始めてみましょう。自治体や企業の環境イベントへの参加、地域のごみ拾いや自然観察会、家庭での省エネなど、どんどんチャレンジしてくださいね。がんばった活動を報告すると専門の先生からアドバイスをもらえたり、全国のクラブからエールをもらえたりします。

◇登録先はこちら

- こどもエコクラブ三重県事務局 (三重県環境学習情報センター) <https://www.eco-mie.com/kodomo/index.html>
- こどもエコクラブ全国事務局 <http://www.j-ecoclub.jp/>



「環境基礎講座」は地球環境や三重県の環境に関する最新情報を得ながら、「環境問題をなんとかしよう!」と学び合う入門講座です。令和2年度は、「気候変動」「生物多様性」「資源循環」「水環境」「エシカル」のテーマで全5回開催し、たくさんの方に受講していただきました。全講座を修了された、お二人の体験談をご紹介します。今年度もさらに内容を充実させて開催する予定です。ぜひご参加ください!



こばやし ひさとし
小林 久敏さん



なかむら まお
中村 麻央さん

1 受講しようと思ったきっかけは?

地域環境を学び、知見を広げることで、傍観者意識を変えたいと思い受講しました。ここ数年、何度も聞くニュースは、「地球温暖化のため……。」です。猛暑であったり、大型台風、集中豪雨による河川氾濫などの異常気象による自然災害は、決して他人事ではありません。また、「SDGs」や、グレタ・トゥーンベリさんの地球温暖化防止への抗議活動「Fridays For Future」は、とても心に響き、環境問題に改めて興味を抱きました。

環境問題には長年関心があり、何か活動に取り組みたいとずっと考えていましたが、身近にはそういった関心を共有できるコミュニティが見当たらず、どうやって意思を同じくする人々と実際に接点を持つことができるのか、どうやって始めてよいものかと悶々と過ごしてきました。本や雑誌、あるいは映画などから情報はいくらでもインプットすることができますが、実際に行動する(アウトプット)をできる機会を求めていました。行動を起こすには、まずは実際に考えを同じくする人々との出会いが必要なのではと考え、講座を受講することにしました。

2 どんな学び・発見がありましたか。自分自身に何か変化がありましたか。

環境問題に対し様々な目線を持って考えられるようになり、行動も積極的になりました。講座を通して市民、企業、自治体など、多くの方が問題意識を持って早期から多岐にわたる環境保全活動をされていることを知り、感銘を受けました。何より、私にとって講座に参加すること自体が新鮮でした。講師、受講者、運営者が一体となる素晴らしい講座空間を創り出すファシリテーターの存在感は圧巻でした。家庭、地域、職場でも活用できるコミュニケーションスキルも学べた講座でした。

一つ一つの講座は1時間ほどで決して長くはなく、内容もあまり深いところまでカバーできませんでしたが、それでも各テーマの概要を知ることができました。本を読むのと違い、実際に講師の先生方に講義を受けるのは、より印象が強く、深い理解ができたように思います。また、質問も受けていただけなので、質問への回答から得られるものは大きかったです。講師の方々それぞれの活動は大いに勇気付けられましたし、講座の他の参加者のみなさんが非常に熱心に講義を受けておられることにも感心しました。

令和3年度も開催します!

環境学習地域リーダー養成講座「環境基礎講座 2021」

環境基礎講座2021 三重県の「環境政策」を読み解く

「2050年カーボンゼロ」とよく聞くけれど、どうやってゼロにするのだろう? 里山が開発されてマンションができたけれど、三重県の自然は守られているのかな…。プラスチックごみが増え続けているけれど、リサイクルしなくてはいじょうぶ?

そんな身近な環境の疑問や問題を感じる日々です。三重県では、どんな政策や計画がたてられているのでしょうか。

本講座では、三重県担当者による講義と参加者との意見交換を行います。ぜひ、ご参加ください。

第1回 気候危機「三重県地球温暖化対策総合計画」

6月5日(土) 講師:三重県環境生活部地球温暖化対策課

第2回 生物多様性「みえ生物多様性推進プラン」(第3期)

6月26日(土) ~みえ生物多様性保全ネットワーク、ゾーニングの進捗~
講師:三重県農林水産部みどり共生推進課

第3回 資源循環「三重県循環型社会形成推進計画」

7月10日(土) 講師:三重県環境生活部廃棄物・リサイクル課

TOPIC

環境基礎講座 フィールド編を行います!

今年は座学3回に加えて、「現場に学ぶフィールドスタディ」を行います。現在、訪問先を検討中。詳しくは、次号でお知らせします。お楽しみに!!



●場所:サン・ワーク津 研修室 (津市島崎町143-6)

●募集人数:各回40人 (三重県在住の中学生以上) ※応募多数の場合抽選

●申込締切:5月18日(火) ※全講座受講いただいた方には修了証をお渡しします。



企画展示

開館時間内 観覧無料

開催中
4・5月

「Picture Book for SDGs ~SDGsの大切さを伝える絵本展」 一般社団法人SDGsコミュニティ

この絵本が大切にしていることは、「Imagination(想像)」です。「だれ一人とり残さない世界」をつくるために、気づき、学びあい、行動につながることを願い、この絵本をつくりました。

絵本のイラスト展覧会です。眺めながら、SDGsや未来のこと、想像してみませんか。



予告
6・7月

「『三重県地球温暖化防止啓発ポスター コンクール』入賞作品展」 三重県環境学習情報センター

令和2年度「三重県地球温暖化防止啓発ポスターコンクール」の入賞作品16点を展示します。皆さんの力作をぜひご覧ください!



センター休館日と開館時間変更のお知らせ

2021年4月より休館日と開館時間が変更となりました。

開館時間 午前9時～午後4時

休館日 月曜日・土曜日(祝日は除く)、
年末年始(12月29日～1月3日まで)

入館料 無料

<ご来館時のお願い>

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
入館の際には下記のご協力をお願いします

- ①発熱や風邪症状のある方は入館できません。
※年齢や基礎疾患をお持ちにより感染リスクを心配される方は入館をお控えください。
- ②入館時・退館時の手洗いやアルコール消毒。
- ③館内では必ずマスクの着用をお願いします。

こどもエコクラブ

県内交流会 2020

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県内各所から集まることが難しくなりました。そこで、希望クラブを募り、事前にそれぞれのクラブに「お正月かざりのキット」を送付し、作り方の動画(YouTube)を見ながら作業して、作っているところや、出来上がった作品の写真を送っていただきました。写真はYouTubeでもご覧になれます♪



参加人数 ▷ 11クラブ43人

三重県こどもエコクラブ県内交流会2020

おうちで大きな松ぼっくりの
「お正月かざりをつくろう」作品紹介!!!

URL : <https://youtu.be/O8mGy306H8E>



2021年度

環境学習ポイント制度

三重県環境学習情報センターのポイント対象の主催講座(大人向け)に参加すると1講座につき1ポイントがもらえます。

※連続講座の場合は1日につき1ポイント。

ポイント対象講座

2021年3月1日～2022年2月28日

申請締切

2022年3月15日

申請方法

5ポイント、10ポイント貯まるごとに、
その場で図書カードをお渡しします。
講座受付のセンタースタッフにお申し出ください。

プレゼントの引き換えは、おひとり様 年2回限りです。

※ポイントの把握は自己管理でお願いしています。
※ご不明な点はお問い合わせください。

講座情報

詳細・申込方法については、ホームページ・チラシをご覧ください

PICK UP 開館時間・休館日の変更について

令和3年4月1日から
開館時間・休館日が次のとおり変更となります。

開館時間 午前9時～午後4時

休館日 毎週月・土曜日(祝日を除く)、12月29日～1月3日

今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、講座の延期、または中止となる場合があります。予めご了承ください。

環境学習地域リーダー養成講座 環境基礎講座2021

三重県の「環境政策」を読み解く 全3回

- ① 6月 5日(土) 気候危機「三重県地球温暖化対策総合計画」
- ② 6月26日(土) 生物多様性「みえ生物多様性推進プラン」(第3期)
～みえ生物多様性保全ネットワーク、ゾーニングの進捗～
- ③ 7月10日(土) 資源循環「三重県循環型社会形成推進計画」

会場	サン・ワーク津(津市)	締切	5月18日(火)
内容	昨年度策定された、地球温暖化・資源循環に関する計画、また一昨年度策定された「みえ生物多様性推進プラン」の進捗について、行政職員による説明と意見交換を行います。		

環境学習地域リーダー養成スキルアップ講座 2021年度 森林インストラクター資格試験 合格支援講座

- | | |
|---------------|--------------|
| 5月16日(日) 開講式 | 5月30日(日) 森林 |
| 6月13日(日) 森林2 | 6月27日(日) 森林3 |
| 7月11日(日) 林業1 | 7月25日(日) 林業2 |
| 8月 8日(日) 野外1 | 8月22日(日) 安全 |
| 9月12日(日) 試験対策 | ※要受講料 |

会場	主に三重県環境学習情報センター(四日市市)	締切	
内容	(一社)全国レクリエーション協会認定の「森林インストラクター」資格取得のための資格試験受験対策講座です。講座では「森林」「林業」「森林内の野外活動」「安全と教育」の4科目について要点を解説し、受験対策のポイントなどを指導します。申込先:三重森林インストラクター会	4月28日(水)	※先着順

環境学習地域リーダー養成スキルアップ講座 「しぜん工作の先生になろう!」

5月30日(日) 10:00～11:30

会場	四日市市勤労者・市民交流センター(四日市市)	締切	
内容	自然の素材を使った工作でみなさんの想いを伝えてほしい!工作のねらいや体験工作の時の注意点など、実際作って、工夫やアイデアを出し合ってみませんか?	5月11日(火)	※先着順

環境学習地域リーダー養成スキルアップ講座 「ふろしきで環境を伝える人への第一歩を!」

7月4日(日) 13:00～16:00

会場	四日市市勤労者・市民交流センター(四日市市)	締切	
内容	環境の事を伝える人になりませんか?ふろしきの便利な使い方を学んだあと、楽しみながら、環境に関心を持ってもらうための伝えるポイントなどをお伝えします。	6月15日(火)	

環境講座 三重県民の森 自然観察会

原則、毎月第2土曜日

会場	三重県民の森(菟野町)※ふれあいの館前集合	締切	
内容	三重県民の森の遊歩道を歩いて、その時期に観られるいろいろなものを観察します。三重県民の森のホームページで確認後、三重県民の森に申し込んでください。	三重県民の森のホームページで確認ください。	

環境講座 自然観察会 ～自然観察の森を探検しよう～

①5月15日(土) 10:00～12:00 ②7月24日(土) 10:00～12:00

会場	自然観察の森(津市)	締切	
内容	津市リサイクルセンター内にある自然観察の森を歩いて、自然観察をします。この時期の花や昆虫を探したり、野鳥の声に耳を傾けたりして、身近な自然を楽しみます。	①4月30日(金) ②6月29日(火)	

環境講座 初めてのZoom講座

5月22日(土) 5月23日(日)

会場	5月22日(土) 四日市市なやプラザ(四日市市) 5月23日(日) みえ市民活動ボランティアセンター(津市)	締切	
内容	Zoomの使い方を学び、参加者として講座や会議に出席できるようになるための初心者向けの講座です ※両会場とも講座内容は同じです	4月30日(金)	

環境工房 貝がらで作る「夏の壁飾り」

6月20日(日) 10:00～12:00 材料費500円

会場	三重県環境学習情報センター(四日市市)	締切	
内容	伊勢湾の貝がらを使った涼しげな壁飾りを作ります。今、問題になっている「海洋ごみ」についても考えてみませんか?	5月25日(火)	

環境講座「ふろしきを使ってみませんか?」

7月4日(日) 13:00～14:30

会場	四日市市勤労者・市民交流センター(四日市市)	締切	6月15日(火)
内容	おうちのタンスで眠っているふろしきはありますか?エコバッグの代わりにもなるふろしきの便利な使い方を学びながら、ごみ問題について考えてみましょう。		

「あそべるたいむ」

毎日曜日・祝日 開館時間内(最終受付15:00)

会場	三重県環境学習情報センター(四日市市)	締切	事前申し込み不要 当日受付 無料
内容	自然のものを使った簡単な工作ができます。何が出来るかは、当日のお楽しみ!		

「春のキッズエコフェア」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

※「先着順」以外はすべて抽選となります。各講座の詳細につきましては、お問い合わせください。

三重県環境学習情報センター 入館無料

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	https://www.eco-mie.com/
休館日	毎週月・土曜日(祝日を除く)、 年末年始(12月29日～1月3日)
開館時間	午前9時～午後4時

